



報道発表資料

2002年8月27日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、「ASTERIA 3」の対応プラットフォームとして Turbolinux Enterprise Server 8 を新たに追加

～ PC ベースで高信頼性のアプリケーション開発基盤を提供 ～

インフォテリア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野 洋一郎)は、2003年10月1日より出荷を開始するビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA 3(アステリア スリー)」の対応 OS として、主要 UNIX、Windows、RedHat Linux に加え、このたび新たにターボリナックス社の「Turbolinux Enterprise Server 8 powered by UnitedLinux(以下、TLES8)」を追加したことを発表しました。

「TLES8」は、世界主要 Linux ベンダーによって共同開発されている「UnitedLinux」がベースとなっており、業務システムに求められる信頼性、安全性、拡張性、可用性を兼ね備えたビジネス用途サーバー OS として市場からも高い評価を受けています。インフォテリアの「ASTERIA」は、レガシーシステムとオープンシステムを連携させる EAI 用途のほか、最新バージョンの「ASTERIA 3」ではノン・プログラミングの汎用アプリケーション開発基盤としての方向性を打ち出しており、よりコストパフォーマンスの向上が求められています。

このたび「ASTERIA 3」が「TLES8」へ対応し、「TLES Ready」プログラムによる認定を受けたことにより、ユーザー企業にコストパフォーマンスとセキュリティ、サポートに優れた PC ベースの Linux プラットフォームの選択肢を提供することが可能となります。インフォテリアでは、同 OS に対応した「ASTERIA 3」の出荷により、運用負担の低いシステム基盤を提供してまいります。

このたびの「ASTERIA 3」の TLES8 対応について、ターボリナックス株式会社の代表取締役社長 矢野 広一氏より以下のようにコメントをいただいています。

「ターボリナックスは、このたびの新バージョン『ASTERIA 3』の TLES8 対応を歓迎します。現在、エンタープライズ分野ではレガシーシステムからのダウンサイジングに加速がついており、その際にプラットフォームを Linux にする比率がかなり高まっています。『ASTERIA』が TLES8 に対応することで最もコストパフォーマンスに優れた EAI ソリューションが誕生することとなり、この流れを後押しするものと期待しています。」

Turbolinux Enterprise Server 8 powered by UnitedLinux について
大規模エンタープライズシステムや商用データベース、ERP、SCM 等のミドルウェア利用
を前提とした業務システムに求められる信頼性、安全性、拡張性、可用性を兼ね備えたビ
ジネスサーバーOS です。ベース部分である UnitedLinux は世界主要 Linux ベンダーであ
る Conectiva、The SCO Group、SuSE、Turbolinux4 社により共同開発され、品質はもと
より、長期的なメンテナンス、迅速なセキュリティ対応などトータルで高水準なサービス
を提供し、お客様のミッション・クリティカルなビジネスを最大限に支援します。
<http://www.turbolinux.co.jp/tles8/>

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、XML を中心とした先進の技術を、リアルワールドで適用で
きるソフトウェアおよびソリューションとして提供する会社です。インターネット基盤デ
ータ技術「XML」を活用するためのコンポーネント製品や、企業内外のさまざまなデータ
変換・システム連携を容易に実現するビジネス・インテグレーション・プラットフォーム
「ASTERIA (アステリア)」を提供しています。
<http://www.infoteria.com/>

#

<お問い合わせ先>

インフォテリア株式会社

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/infoteriaday/>

(ウェブサイト)

大橋 みどり

(広報担当)

以上